

目的	今年発生した度重なる災害による教訓を踏まえた 災害対処能力の向上及び防災関係機関との連携強化
日時	平成31年1月17日(木)
災害想定	南海トラフ巨大地震を想定(休日午前9時30分に発生) 震源地:M9.1、府域最大震度:6強
主な 取り 組み	<p>■災害対策本部会議の運営訓練(知事、副知事、各部局長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知事の緊急登庁訓練</li> <li>初動段階での対応、手順の確認など</li> </ul> <p>■緊急防災推進員の参集・初動対応訓練</p> <p>〔地震発災直後の段階から、大阪府の防災拠点及び市町村庁舎に自動参集し、情報収集など初動対応を行う。〕</p> <p>■各部局での訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員参集及び初動対応訓練</li> <li>業務継続計画(BCP)、災害応急対策の訓練</li> </ul> <p>■震災応急対策連絡会議の運営訓練</p> <p>災害時における防災関係機関相互の情報共有と連携強化を目的とし、事務局とリエゾン部隊との支援調整を想定した訓練</p> <p>〔大阪府警察本部、大阪市消防局、陸上自衛隊第3師団、海上保安庁大阪海上保安監部、大阪管区气象台、近畿地方整備局、関西電力(株)、大阪ガス(株)、西日本電信電話(株)大阪支店、大阪広域水道企業団事業管理部〕</p> <p>■訓練ふりかえり(竹内副知事、各部局長)(16:00~)</p>

■災害対策本部会議の運営訓練(10:35~11:00)

○場所:災害対策本部会議室(新別館北館1階)

○想定状況  
地震発生から1時間経過、府内では建物倒壊被害が発生。  
1mを超える津波が、岬町に到達し、その後、大阪湾を北上し、11:30頃には大阪市域に到達する見込み。

○会議内容

- 知事から府民への緊急メッセージ
  - 津波からの避難、身を守る行動の呼びかけ
- 府内の被害状況等の報告
  - 地震と津波の概要(大阪管区气象台)
  - 映像による各地の被害状況の把握
- 沿岸市町首長等とのホットライン
  - 岸和田市長、泉佐野市長とのテレビ会議
  - 関西国際空港(総合対策本部長)との電話会議
- 庁内各部局からの報告
- 対応方針のまとめ
- 知事から本部員への指示

※下線部:知事の対応項目

■緊急防災推進員の訓練(9:30~12:15)  
総勢417名 自宅から概ね1時間で参集

区分	参集場所	参集人員
事務局要員	災害対策本部事務局 (危機管理センターA)	60名
防災拠点要員	3 広域防災拠点(北部、中部、南部)	30名(@10名)
地域連絡部要員	7 府民センター (豊能、三島、北河内、中河内、 南河内、泉北、泉南)	105名(@15名)
市町村要員	43 市町村(防災担当部局)	172名(@4名)
(後方支援) 活動拠点要員	府営公園等5ヶ所 (万博記念公園、服部緑地、寝屋川公園、 久宝寺緑地、大泉緑地)	50名(@10名)